



# はれるんマガジン

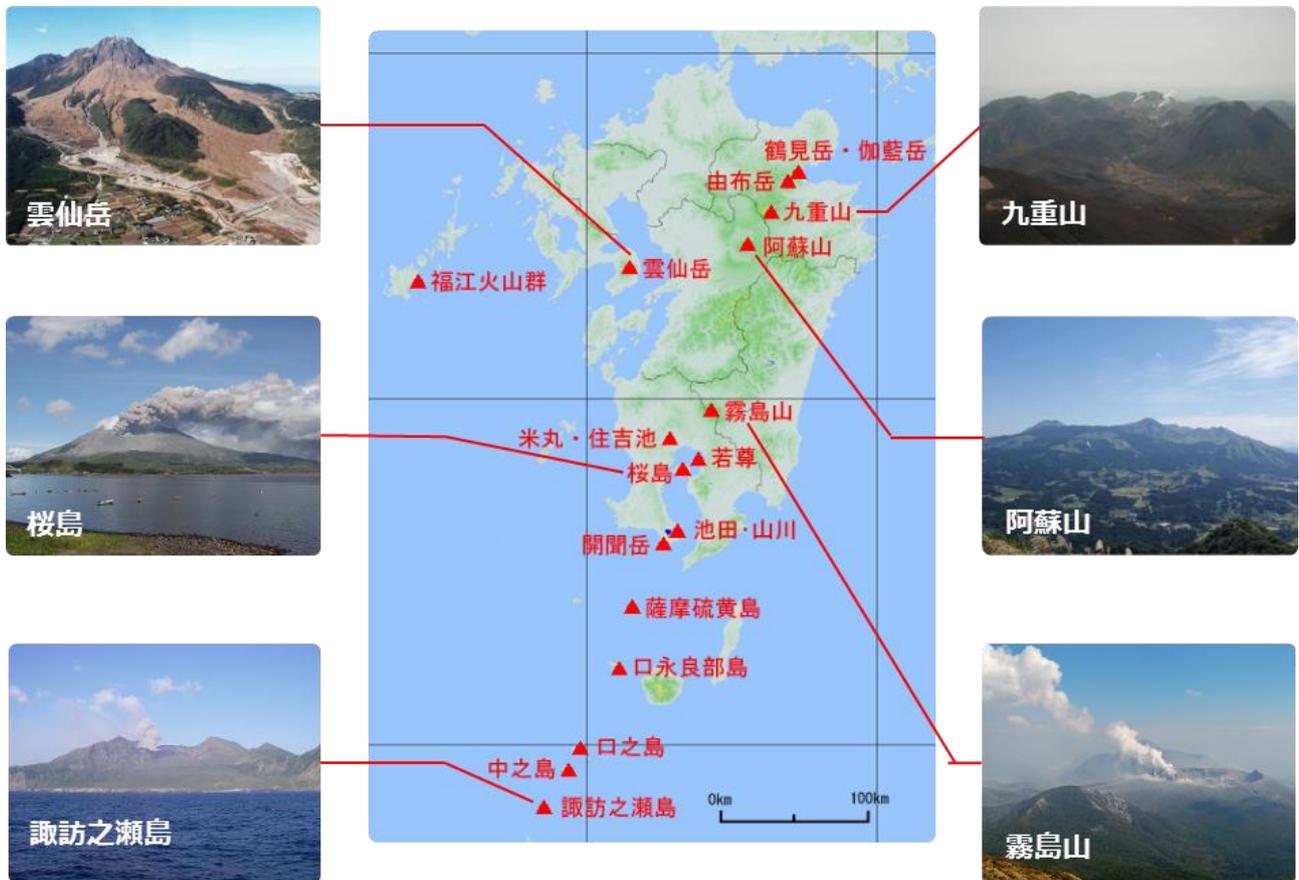
～気象・地震に関わる素朴な疑問に答えます～ 発行：福岡管区気象台

今月の素朴な疑問

## 活火山ってなに？

### ■活火山とは？

活火山とは、過去1万年以内に噴火した火山と現在活発な噴気活動のある火山のことを言います。日本には111の活火山があり、そのうち九州には桜島（鹿児島県）や阿蘇山（熊本県）をはじめ、17の活火山があります。

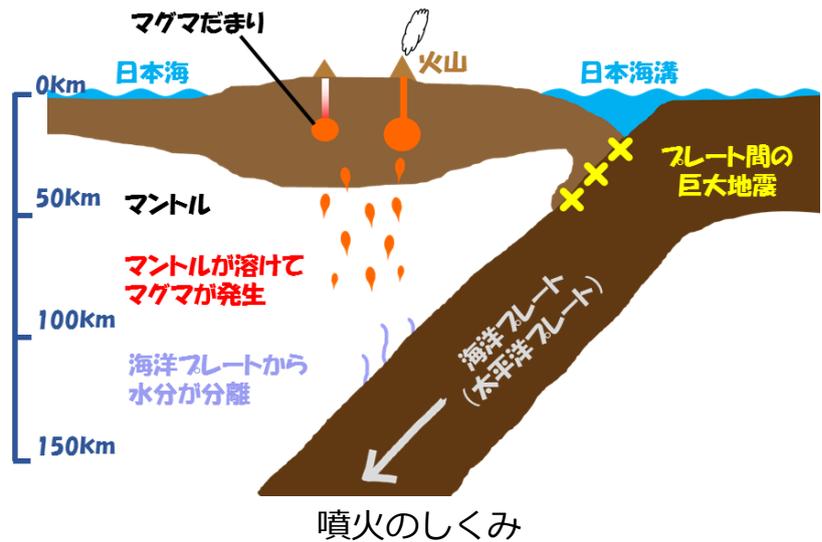


九州の活火山

### ■噴火のしくみ

地球は十数枚のプレートと呼ばれる固い岩盤で覆われています。また、プレートの下にはマントルがあります。日本の近くでは水を含んだ海のプレート（海洋プレート）が陸のプレート（大陸プレート）の下に潜り込んでいます。このとき、海洋プレートの水の働きによってマントルの一部が溶けて上昇していきマグマができます。マグマ

には水や炭酸ガスなどの火山ガスが溶け込んでいます。マグマが地下の浅いところまで上昇して周りの圧力が下がると、炭酸ジュースのふたを開けたときのように、マグマの中の火山ガスが泡になります。泡を含んだマグマは周りよりさらに軽くなるので、地上まで上昇して噴き出します。これが噴火です。



気象庁・気象台では活火山

を監視しており、噴火による災害のおそれがあるときに「噴火警報」や「噴火警戒レベル」を発表して警戒を呼びかけたり、定期的に活火山の活動状況を公表したりしています。

### ■8月26日は「火山防災の日」

今年4月1日に「活動火山対策特別措置法の一部を改正する法律」が施行され、8月26日を「火山防災の日」とすることが定められました。8月26日は、明治44年に日本で最初の火山観測所が浅間山(長野県)に設置され観測が始まった日です。噴火災害から身を守るためには、気象庁が発表する火山防災情報に基づき、噴火警戒レベルに応じた行動をとることが重要です。

「火山防災の日」をきっかけに、火山の魅力・恩恵とともに、その危険性を正しく理解し、噴火災害に備えておきましょう。

火山登山者向けの情報  
(気象庁ホームページ)



火山防災の日特設ページ  
(気象庁ホームページ)



### ご意見をお待ちしています

問合せ先

〒810-0052 福岡市中央区大濠 1-2-36

福岡管区気象台地域防災推進課はれるんマガジン編集部

電話：092-725-3614

e-mail：fukuoka\_bousaichosa@met.kishou.go.jp



次回の発行は2024年9月の予定です。